



**PTR HONDA**

**Hikaru okubo 大久保 光**

**World Supersport Championship**

**round - 5 Aragon september .5-6**

**予選 21 番手 レース 1 リタイヤ レース 2 欠場**



スーパースポーツ世界選手権（WSS）は、モーターランド・アラゴンで2週連続の開催となり第5戦テルエル大会が開催されました。

大久保光は、前戦で、転倒してしまったため、マシンのフレーム、サスペンションなどを交換し最善を尽くしてくらたチームに応えようと走り出しました。ですが、熱があり、左目がぼやけてしまい、体調がすぐれず、タイムアタックがうまくいかずに予選は21番手となってしまいます。決勝に向けて体調の回復に努めましたが、症状は改善されませんでした。それでも、グリッドに並び、追い上げますが、その最中に、タイヤのリムが外れてしまうというトラブルで、タイヤが破損、走行困難となりリタイヤとなりました。

レース2に向けて準備していましたが、熱は下がらず、食欲もない状況を心配したチームにより、メディカルで診断を受けます。医師はバルセロナの転倒で、痛めた個所が、悪化しているのではないかという答えでした。この答えで、チーム判断で、レース2欠場が決まりました。せっかく、開幕したシーズンで、今季は初表彰台、初優勝を目指し、短期決戦の中で、タイトル争いをと目標を定めていた大久保にとって、残念な決断ではありますが、何よりも体調の回復に努めようというチームの判断に従うことになりました。

大久保光

「残念ですが、体調回復を最優先しようというチームの方針に従います。バルセロナで、もう一度、精密検査をして原因を究明して治療することになりました。しっかり治さないと出走許可がありません。かなり、厳しい見立てなので、問題なしと言ってもらえるようにしたいと思っています。検査はこれからなので、まだ、報告出来ることはありませんが、今は、寝込むというほどではなく、チームスタッフと一緒に移動しています。左目がかすむような感じですが、右目はちゃんと見えているので、行動が制限されているわけではありません。サーキットにいるのに、決勝を走れなかったことは、残念で仕方がありませんでした。この思いを次戦では晴らせるようにと思っています」

※次回は、9月19日~20日開催の第6戦カタルニアの報告をさせていただきます。